

農協改革、慎重対応を

県内JAグループ 自民の国会議員と会合

県内JAグループは8日、自民党の県選出国會議員や県連幹部との意見交換会を岐阜市内で開き、政府が進める農協改革への慎重な対応を求めた。

会合には、県内JAグループの幹部12人のほか、自民党の県選出国會議員と県連幹部11人が出席した。

JA岐阜中央会の櫻井宏

会長は農協改革について「政府の規制改革推進會議主導ではなく、生産現場の声を踏まえた政策遂行をお願いしたい」と強調。

具体的な要望として、国による生産調整の廃止に伴う農家の不安払拭のため、予算措置や准組合員の利用制限の反対などを挙げた。



県選出国會議員らの前であいさつする櫻井宏会長(左)＝8日午後、岐阜市長良、岐阜グランドホテル

県連会長の野田聖子総務相は「現場の声を届けても

らい、農政が間違った方向にいかないように助言してほしい」と話していた。

(河合修)